

韓牛祭り in 横城 (フェンソン)

1 はじめに

意外かもしれませんが、韓国では焼肉と言えば、牛肉ではなく豚肉が一般的です。なぜなら、牛肉は高級品で、特にブランド牛の一種である韓牛はとても高価でなかなか手が出ないようです。

そのブランド韓牛の産地として有名な江原道横城郡では、韓牛の良さを幅広く知ってもらうため、毎年10月頃、数日間に渡って「韓牛祭り」を開催しています。

横城郡は、私が住む春川市からバスで約1時間30分ほど南に行った所にあります。人口約4万5千人（2012年12月現在）、面積約1,000平方km（鳥取県の約2/7の大きさ）で、それほど大きな町では無いですが、韓国内では「韓牛と言えば横城郡。」というほど、多くの方に町の名前が知られています。韓牛祭り開催中は、国内外から多くの方々が横城郡を訪れ、町は大変な賑わい振りで、今回は、横城郡で開催された韓牛祭りを御紹介します。

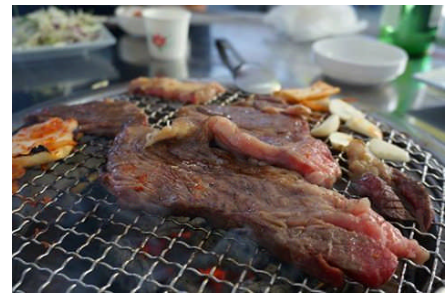
なお、横城郡は、平成6年から鳥取県八頭町と芸術文化やスポーツなどの幅広い分野で交流をしていて、鳥取県とも馴染みのある町です。

2 横城郡の韓牛祭り

会場は横城郡の中心部にあり、川沿い数キロに渡って設置されていて、地元の農産物の販売所、食堂、子どもの遊び場、牛とのふれあいコーナー等があります。

会場内を散策していると、数十メートルにも及ぶ長い行列を発見しました。先頭に行ってみると、「セルフ食堂」の文字があり、近くにいる人に聞いてみると、隣に韓牛の販売所があって、そこで買ったお肉を、セルフ食堂で焼いて食べる事が出来るとのこと。早速販売所に行ってみると、普通の食堂で食べるよりも安く韓牛が売っていました。私もお手ごろ価格の韓牛を買って、行列に並ぶこと約30分、ようやく席に案内され、韓牛に舌鼓を打ちました。

肝心の味ですが、肉は柔らかく繊細で、とろけるような肉質。それでいて脂っこくなく、また食べたくなる味でした。全国の韓牛の中でも、一番美味しいと評判の横城の韓牛。期待を裏切らない味でした。



大人気の韓牛。
韓国では、お肉をハサミで切って、いただきます。



八頭町の観光広報ブース。
八頭町の工芸品や、八頭町と横城郡との交流の様子の写真を掲示していて、盛況でした。長期に渡って八頭町と交流しているためか、横城郡内での鳥取県の知名度は高めです。

なお、値段が100g 800円前後の韓牛が結構売れていました。ちなみに、私の家の近くにある焼肉屋では、100g 1,500円以上で韓牛が販売されています。

また、鳥取県八頭町もブースを出店していて、八頭町の観光PRや工芸品等を紹介していました。とりわけ、工芸品への関心が高く、浮世絵であしらったコースターに人気が集まっていました。

韓国のお祭りに行くのは今回で3回目ですが、共通して言える事は、キッズスペースが充実していることです。韓牛祭りでは、子ども専用のアスレチック場やゴーカードもあり、子供連れの家族も楽しめるようになっていました。

平成25年10月8日

第17代 大韓民国江原道庁派遣研修生 山橋 伸治